

市民から義援金募る

広島のと砂災害に対し

桜ライン311

陸前高田市のNPO 法人桜ライン311 (岡本翔馬代表)は、19日に広島市で発生した土砂災害の被害に対する緊急募金活動を開始した。9月30日(火)までの間市内各所に募金箱を設置するほか、銀行振り込みでも市民からの善意を募る。

同法人は「自然災害による痛みを知る者として、小さくともアクションを起さねば。震災後にいただいた善意をお返ししたい」と、昨年11月に巨大台風に見舞われたフィリピン共和国や、今年5月のセルビア大洪水の際も募金活動を展開。その後も支援を続けている。

今回は、集中豪雨による河川のはんらん、土砂崩れなどで市内広範囲にわたって被害を受け、多数の死者・行方不明者が出た広島市に対し義援金送付を決めた。

「まだまだ多くの住民が生活再建を果たせていない気仙にあっても、フィリピンやセルビアの災害発生時にはたくさんの方の寄付が集まった。東日本大震災のあと、広島からも義援金や救済物資、人的応援が送られていることから、同法人は「恩返しの意味でも、必要な地域へ支援をつなげることが私たちの責務」と、広く協力を呼びかける。

集まった募金は8月31日(日)にいったん陸前高田市内各地に置かれていた募金箱に米崎町・産直はまなす



取りまとめ、広島市役所へ贈呈する予定。募金箱は高田町の大隅商店街内にあるケセンキョードーボックスとまちづくり協働センター、米崎町の産直はまなす、横田町の川の駅よこたに置いており、さらに市内各地へも設置するつもりだとい

整体学びストレス解消

吉浜でセルフケア講座開催

大船渡

大船渡市教委や市立中央公民館、明治大学による「セルフケア講座」野口整体を学んで身心を整える」は27日、大船渡市三陸町吉浜の吉浜地区拠点センターで開かれた。同大学の平山満紀准教授が指導し、ストレス解消につながるツボの押さえ方などを参加者に教えた。

同講座は、市の地域再生支援文化活動事業と、同大学の震災復興支援事業の一環で実施。治療術として知られる「野口整体」を取り上げ、市民の疲労回復に寄与することが狙い。



この日は三陸地域の住民合わせて約20人が参加。平山准教授は、固くなりがちなお腹を優しくほぐす方法を伝えた平山さん(左)三陸町吉浜

「今日は三陸地域の住民合わせて約20人が参加。平山准教授は、固くなりがちなお腹を優しくほぐす方法を伝えた平山さん(左)三陸町吉浜

職業は問わない。申し込み、問い合わせは同法人の萩原さん(TEL、FAX 54・3121)まで。締め切りは31日(日)。

第2回以降の講座日程次の通り。

▽第2回 9月12日(金)▽第3回 同19日(金)▽第4回 同26日(金)▽第5回 同10月3日(金)▽第6回 同7日(火)▽第7回 同17日(金)▽第8回 同24日(金)▽第9回 同31日(金)▽第10回 同11月4日(火)

スキルアップ講座の参加募集

9月からNPO法人まあむたかたの「自分を磨くスキルアップ講座」は9月2日(火)から始まる。受講者を募集している。

▽今後、就職・転職を予定している▽受付・秘書を目指す▽自分自身に自信をつけたい▽女性力・自分の力をアップさせたい

などを考えている人を対象に、全10回の講座を予定。内容は、社会常識、経営知識、来客対応や電話対応マナーなど。

第1回の講座は9月2日に陸前高田市米崎町の朝日のおたる家で実施。参加費用はテキスト代として6000円(税込み)。募集定員は先着25人で、年齢、

赤崎町で街頭指導

交通安全モデル地区定されている大船渡市町で、夏の交通安全指導が行われ、眠気覚まし冷たい飲み物やガムを配布し、ドライバーに運転を呼びかけた。

参加者は、金野要治交通安全モデル地区推進協議会長はじめ協議会、母の会、交通指導

20年前のきょう

たい